

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

9 2012-2013
September
vol.3

国際ロータリー 第2660地区
2012-2013年度ガバナー

高島 凱夫

2012-2013年度 RI第2660地区方針

「育もう未来の力を ～飛躍～」

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2012-2013

9 2012-2013
September
vol.3

CONTENTS

新世代のための月間	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
クラブ広報委員長会議報告	4
第1回 クラブ社会奉仕委員長会議報告	5
2012-2013年度 合同地区委員会開催報告	6
米山奨学委員会 大学/地区意見交換会	7
天神祭能船に被災地児童を招待	8
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告(第15回)	10
2012年7月度 会員数・出席報告	11
敬弔/お知らせ	12
文庫通信	13

新世代のための月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



RIでは、才能と熱意のある次世代を担う青少年や若者の育成を推奨し、毎年9月を「新世代のための月間」と定めています。当地区では、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA、ニコニコキャンプなどがあり、地区委員会の皆様がアドバイスをしながら、提唱クラブあるいはホストクラブの皆様方が奉仕活動に携わっていらっしゃいます。皆様方の活動に感謝を申し上げます。

新世代奉仕がロータリーの第5の奉仕部門に入って、1年3ヶ月が経過しようとしています。近年の社会の変化・多様化のため、青少年を取り巻く状況も大きく変化しています。喫煙、飲酒、脱法薬物などの薬物依存、性感感染症・HIV/AIDSなどの低年齢化が大きな社会問題となっています。また「突然切れる」「学級崩壊」「ネット依存症」など心(精神)の病をもつ青少年が増加しています。平和な社会を築いていく青少年(未来の指導者)を育てていくことは、ロータリーの、そしてロータリー活動の大きな目的であることは皆様ご存じの通りです。しかし、めまぐるしく社会が変化し、多くの難問が青少年に襲いかかると、やはり“こころ”と“からだ”が健全な青少年の育成が肝要だと思います。

近年、青少年奉仕活動の中での青少年に対する肉体的、性的、精神的虐待が問題になっています。これは、

文化・習慣などの違いを充分把握することで防止できることが多いと思われませんが、今一度、ロータリアンとは?ロータリーの奉仕活動とは?とお考え戴くことが先決問題かとも考えます。

地区では、この様なこと以外にでも起こる各種トラブルを未然に防止するため、また不幸にも起こってしまったトラブルに対応するために、危機管理委員会があり、危機管理積立金があります。

危機管理積立金につきましては、今後国内外で起こる可能性がある様々なトラブルに対し地区として対応できる資金が必要と考えました。そこで今年度は、地区活動資金から増額し危機管理積立金に繰り入れることに致しました。今の時代を考えると、これが十分な規模かどうかは判りかねます。

昨年度に引き続き、今年度は米山奨学委員会も含めた青少年をお世話する委員会が一堂に会する会議を開催し、青少年に関する意識を一致させていくことを考えています。皆様方も、この月間に今一度、RIが提唱している「青少年と接する際の行動規範に関する声明」(後述)など「ロータリー章典2.110. 青少年の保護」をご確認戴きたいと思います。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

新世代のための月間に寄せて

新世代合同委員長会議 議長
大谷 透 (大阪西南RC)



数年前、私がGEとして青少年交換のオリエンテーションに出席した時のことです。来期派遣学生の英語での自己紹介が始まりました。母親に付き添われたある女子高生の英語が、カタカナをそのまま棒読みしたような全く抑揚もアクセントもないトークだったので、そのような発音を聞いた現地の人は「日本語は英語に似ているなあ」と思うでしょうね、とコメントを述べてしまいました。後で持たれた懇親会の席で彼女を励まそうと思い、近づいて話しかけましたが、よほど私のコメントで傷ついたのか、そっぽを向いたままです。横から母親が気を使い取り繕ってくれましたが、この娘どうなる事かと本当に心配でした。それから数回のオリエンテーションを経て1年間米国に交換学生として滞在、私がDGの時に帰国歓迎会がありました。彼女の帰国挨拶は素晴らしい英語になっており、人間的にも驚くほど成長を遂げていました。そして、このような機会を与えてくれたロータリーに心からの感謝の意を述べていましたが、恐らく彼女にかかわった米国の親代わりのロータリアンは、豊かな愛情をもって彼女に接してくれたのでしょう。それに比べて自分の愛情はどうであったかと反省しきりでした。

ロータリーが新世代のために設けているプログラムはこの①青少年交換のほかに、②小学生むけのニコニコキャンプ、③中高校生のためのインターアクト、④18～30歳のためのローターアクトや⑤RYLAがあります。どのプログラムも参加した者は全て楽しくてためになるすばらし

い経験が与えられたと感謝してくれるのですが、いざ誘ってみるとすんなりと参加に応じてくれる若者は殆どいません。いくらこちらが「楽しくてためになるプログラムだ、参加すればわかる」と言葉を尽くして説明しても、今まで参加した事がないのだからわかるはずがありません。最後の決め手は「楽しくてためになる」と語るロータリアンを若者たちがどこまで信頼してくれるかにかかっています。信頼されるためには、こちら側に先ず子供や若者達をいつくしむ心がなければなりません。不用意な言葉で心を傷付けないようにしなければなりません。プログラムを直接企画運営する側は尚更です。愛がなければせつかく捧げられた時間も、時間をかけて準備されたプログラムも無益なものとなるでしょう。愛されることによって人間は、愛する事のできる人間へと育てゆくのです。愛情あふれるロータリアンと接することによって、人を思いやることのできる人格が形成されていくことでしょう。

「Fellowship through Service」はすべての新世代プログラムに共通した言い得て妙の基本姿勢です。即ち、良い友達作りです。ロータリーは、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長してくれることを願い、先にあげた5つの新世代のためのプログラムを設け、その中で良き友達作りがなされることを願っています。そしてロータリークラブはその模範となる事が期待されているのです。

意義ある業績賞について



意義ある業績賞委員会 委員長
岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RIから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、RIに選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選考基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年度「手続要覧」P105を参照)

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクトのみです。また、推薦できるのは、1地区につき1つのクラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのあるプロジェクトは、資格がありません。RI意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかをご確認ください。プロジェクトは以下を満たしていなければなりません。

- ・地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである(いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません)。
- ・単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- ・クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- ・地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- ・他のロータリー・クラブの模範となりうるものである。
- ・現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー年度中に完了するものである(ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はありません)。

■推奨推薦手続

以下は、意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- ・8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- ・地区ガバナーは、その月信で、選考基準(上記参照)と共に、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できるようにする。
- ・地区選考委員会は、2月1日までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、これを3月1日までに届くよう地区ガバナーに提出する。
- ・選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- ・地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを、必要な書類と共に国際ロータリーに提出する。
- ・提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、RI選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2013年1月31日(木)とします。

RIから正式の認定状が送付されてくると、

例年通りガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。

クラブ広報委員長会議報告

広報委員会 委員長

林 邦彦 (大阪西RC)

2012年7月7日(土)午後2時より、本年度第1回広報委員長会議を、大阪科学技術センターにて開催しました。

本年度最初の土曜日で、就任されたばかりの各クラブの広報委員長の皆様に、広報についてよく知って頂き、各クラブでの広報活動に活かして頂きたいというのが、本委員長会議の趣旨です。

まず、御来賓のご紹介の後、高島Gのご挨拶では、本年度は、田中作次RI会長においても、高島Gにおいても「公共イメージのアップと認知度の向上」が強調事項であり、特に広報が重要であるとのご指摘がありました。

次に、広報委員長である私より、昨年度の広報委員会の活動をご紹介した上で、「公共イメージのアップと認知度の向上」のためには、とりわけ「対外広報」が非常に重要であることをご説明するとともに、本年度の広報委員会として、JR大阪駅デジタルサイネージ(電子広告。第1回目は8月6日から9月2日まで。RI補助金を得ましたので第2回目も予定しています)、産経関西HP「2660地区通信」の充実、ラジオ大阪でのラジオ番組の継続等の活動方針をご説明しました。



その後は、産経新聞大阪本社総合企画室長・深堀明彦様より「卓話だってネタになる」のテーマで、産経新聞大阪本社総合企画室デジタルメディア担当部次長・岡崎秀俊様より「メディア状況の変化と『広報』」のテーマで、それぞれご講演頂きました。深堀様からは、広報には1次情報を対象とすることが重要であり、1次情報であるロータリークラブの奉仕活動は広報に適切であること、岡崎様からは、広報の視点からは4つのテストの視点に基づいた奉仕活動を対象にすればよい広報ができること等をご説明いただきました。



そして休憩の後、木村研修委員より、各クラブのHPの更新の状況(数年HPが更新されていないクラブもあることなど)やHPによる広報充実の必要性をご説明頂いた後、「対外広報の実例について」のテーマでIMごとに分かれてバズセッションを行いました。各クラブの奉仕活動自体が対外広報ですが、それをタイムリーにHPに反映させるべきであること等活発に議論していただきました。

最後に、岡部PGにご講評頂くとともに、福家GEに閉会のご挨拶を頂き、第1回広報委員長会議を終了しました。皆様、長時間熱心にご参加頂き、ありがとうございました。

8月のJR大阪駅デジタルサイネージでは、是非JR大阪駅に足を運んでください。

第2660地区の広報の充実のため、皆様1年間よろしくお願い致します。



第1回 クラブ社会奉仕委員長会議報告

社会奉仕委員会 委員長

初木 賢司 (くずはRC)

日 時:2012年7月14日(土)14:00~15:50

会 場:大阪YMCA会館 903号室

出席者:高島G、大谷PG、福家GE、泉GN、G補佐7名、
G補佐E5名、地区研修委員4名、地区幹事2名、
地区正副代表幹事2名、地区社会奉仕委員
会9名、地区財団法人道的補助金委員会 吉川
委員長、地区財団FVP委員会 宮里委員長、
大阪府健康医療部薬務課 寺本課長補佐、
クラブ社会奉仕委員長 75名 合計 111名



- 高島Gより、東日本大震災の復興に向けた意義ある活動や、各クラブが地域との密着を大切にできるような社会奉仕活動を活性化してほしいとのご挨拶を頂きました。
- 社会奉仕委員長よりは、本年度の活動計画・活動方針について説明があり、本年も昨年に引き続き「東北へメーカーキャップに行こう」キャンペーンを実施し、東北の現状を確認して復興支援活動を見極める。また地域に根ざした奉仕活動を実践し、クラブの活性化を図ってほしい。
- 大阪府健康医療部薬務課寺本課長補佐による、薬物乱用についての現況報告と、違法ドラッグについての説明があり、平成24年度大阪府「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金のお願いがありました。
- 地区財団法人道的補助金委員会吉川委員長より、本年度の地区補助金の応募状況、応募要領等についてパワーポイントにて解りやすく説明を頂き、今後の補助金申請へのアプローチをして頂きました。
- 地区財団FVP委員会宮里委員長より、次年度より導入されるFVPについての説明をして頂きました。本年度8月の財団セミナーに参加を頂き、9~11月に次年度の計画案作成、12月にアンケート調査を実施。2月の財団セミナー参加、3月末までに補助金申請と本年度の委員長におかれましては、本年度の行事執行と合わせて次年度の計画案作成等と大変ですが、よろしく協力をお願いします。
- 地区研修委員会の木村委員(広報担当)より、本年度広報委員会では色々な活動をサンケイ新聞に掲載することを企画しておりますので、クラブでの社会奉仕活動の活動報告の原稿を頂ければありがたいです。
- 最後に、福家GEより社会奉仕活動は、奉仕活動の原点であることを再確認し、震災復興、地域奉仕活動、本日講話を頂いた、薬物乱用等々についても今後青少年にかかわる重要な問題として捉え、社会奉仕活動の幅の広さを感じましたとの総括講評を頂き、第1回クラブ社会奉仕委員長会議を無事終えることができました。



2012-2013年度 合同地区委員会開催報告

地区代表幹事

村橋 義晃 (大阪中之島RC)

新たな年度がスタートし、地区委員会のメンバーが一同に会する「合同地区委員会」が7月21日に大阪YMCA会館にて開催されました。

開会に際し、高島Gから各地区委員諸氏に委員受任の御礼と地区活動への御協力をお願いと今年度の地区活動がスムーズに実施されることを要望され、今年度のRIテーマ「奉仕を通じて平和をPeace Through Service」そして、地区方針「育もう未来の力を～飛躍～」についての思いを語られました。

当日は、猛暑の中を11名のPG・福家GE・泉GN、そして、AG・AGE全員に御出席頂き、地区研修委員会リーダーの井上PGからRI戦略計画のクラブのサポートと強化の為、今年度の研修委員会活動の計画について説明を頂きました。

又、災害支援プロジェクト委員長の岡部PGから今年度の活動方針について説明を頂き、前年度に引き続き支援への御協力を訴えられました。



次第に基づき、地区会計、G月信、ロータリーの友について、各地区幹事から説明とお願いをさせて頂き、北村地区大会実行委員長から12月7日・8日に開催される地区大会の御案内と御参加の御願いをさせて頂きました。

そして、今年度の地区委員会活動計画の発表と「地区チーム」としての意気込みを16名の委員長から発表して頂き、各委員会の活動計画をお互いに理解して頂く機会になった事と思います。

地区代表幹事より、地区委員の皆様へ地区委員会の円滑な運営等についてをお願いを申し上げ、最後に福家GEから、この合同地区委員会をこれからの地区活動に役立たせて頂きたい旨の閉会御挨拶を頂き、全てのプログラムを終了致しました。

改めて御出席頂きました地区の役員、委員の皆様へ御礼申し上げ、地区活動にお力添えを頂きます様、御願い致します。



米山奨学委員会 大学/地区意見交換会

米山奨学委員会 委員

古城 紀雄 (千里RC)

日時:2012年7月23日(月)14:30~16:30

会場:ガバナー事務所

参加者:田中真人委員長、吉田悦治副委員長、西谷雅之副委員長、福田治夫、
近藤菜穂子、田中隆弥、島井宏子、樋口一夫、古城紀雄各委員

参加大学等:追手門大学、大阪大学、大阪教育大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、
大阪市立大学、大阪成蹊大学、大阪電気通信大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、
近畿大学、摂南大学、梅花女子大学、相愛大学、(独)日本学生支援機構 大阪日本語教育センター、
大阪コミュニケーションアート専門学校、大阪ハイテクノロジー専門学校



7月23日、地区米山奨学委員会と大学等との地区懇談会がガバナー事務所会議室で行われ、2012年度の米山奨学生を選考するにあたり、22の指定校の担当者にご出席いただきました。

吉田副委員長の司会のもと、まず田中委員長が挨拶され、ロータリー米山記念奨学事業の歴史的流れに触れながら、(1) ロータリークラブの基本的精神とは何か、(2) 同米山記念事業の目指すもの、及び(3) 奨学生の推薦・専攻にかかる本年度よりの新たな方針についての見解を簡潔かつ明瞭に述べられました。ここでは、「日本ファン」を増やし「将来ロータリアンとともに平和社会の構築・推進に貢献できる人材の育成」に心したプログラムであることが強調され、また「優秀な奨学生の推薦はロータリアンの中で米山奨学事業ファンを増やす事に繋がります。このファンも増やしてより多くの奨学生を担当できるように、共に手を取り合ってこの事業を推進していきましょう」と呼びかけられました。

ついで、大学間同士の意見交換も兼ねて「各機関がどのような選考基準とプロセスで本奨学生の推薦を

行っているか」についてすべての参加機関からの報告を受けました。その結果、ほとんどの機関で「ロータリー精神の理解の徹底と各種行事への積極的参加意欲の確認」を経て推薦者を決定されていることがわかり、本奨学事業の趣旨が理解された形で応募されている現状が明らかとなりました。一方で、少数ながら当該年度に支給される他の奨学金募集と同時に本奨学生の募集を行っている機関があり、委員長などから「本奨学事業は(今年度ではなく)次年度向けの募集であり、混同しない形での募集・選考を実施していただきたい」旨の見解が示されました。

また、上述の「本年度募集からの新たな方針」として、「本奨学生の選考にあたっては、当地区のロータリアンのさらなる国際性の涵養に有効に資する人材を採択するという視点に立って、以前より増して多様な国籍をもつ者を選考する」との意向が伝えられましたが、そのことについての質疑応答を経て、参加各機関におかれてはこの新方針のもとで、「半数以上が同国籍とならないように適切に推薦していただく」流れを理解していただきました。

なお、本奨学事業では「世話クラブ+カウンセラー制度」を機能させて、生活困窮者支援というより「ロータリー精神の普及と日本ファンの増強」に力点を置いた運営がなされていますが、最近採用奨学生を出した機関から「ロータリアンからの様々な支援」に他のプログラムにはない「きめ細かな対応に奨学生が大変感謝している」旨の報告もあり同慶の至りではありました。最後に西谷副委員長が挨拶し、大学等と地区米山奨学委員会がさらに連携・協働してゆくことを約し、散会しました。



天神祭能船に被災地児童を招待

大阪北RC

東西日本大震災復興支援特別委員会 委員長

鴻池 一季

第2660地区大阪北ロータリークラブは昨年度より復興支援特別基金を設け東日本大震災復興支援事業として、大船渡小学校への教育機材支援、盛岡西北ロータリークラブ提唱のソーラー街灯への協賛や大船渡漁業協同組合へのユニットラック寄贈のための地区への義捐金拠出などの活動を実施してまいりました。この度当クラブで本年12月に創立60周年を迎えるに当たり、諸記念事業を実施するのに加え東北の被災地児童他26名を日本三大祭りである7月25日の大阪天神祭の能船に招待し、彼らを励ますとともに復興への祈りを共に捧げました。



招待したのは仙台空港が位置する宮城県岩沼市玉浦小学校児童22名と校長・教員4名の総勢26名です。児童たちは仙台より気温が10度も高い大阪の暑さにもげず大阪名物たこ焼き作りの体験や造幣局の見学の後、能船に乗り込み当クラブ所属の能楽師大槻文蔵会員が演ずる「翁」や「羽衣」、「土蜘蛛」などの能や狂言「口真似」を鑑賞したほか、能面をつけて舞台を歩む貴重な体験をしながら多くの船が行き交い大阪締めを交換する船渡御の様子に目を輝かせていました。翌日は水陸両用バスのお阪ダックツアーの後、南港ワールドトレードセンターでロータリアンとの交流会に参加、最後は天保山の海遊館を見学しました。交流会では山内校長から震災当時の模様や復興の様子説明そして今回の天神祭招待への答礼がありました。その後児童たちに今回一番楽しかったことはと尋ねたところやはり天神祭と能の体験とのことでした。

今回の事業はマスメディアでも取り上げられ、新聞2紙とテレビでもニュースで紹介がありロータリー奉仕活動の広報の実をあげることができたと思います。

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

1.ロータリー世界平和フォーラム広島

田中作次RI会長年度に、ベルリン、ホノルル、広島の世界3都市でロータリー世界平和フォーラムが開催されます。

広島では「Peace Begins with You(平和はあなたから始まる)」をテーマに、特に新世代に焦点を当て、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指します。

開催日 2013年5月17日(金)18日(土)

2.新補助金制度(未来の夢計画)

【地区の参加資格認定】

いよいよ10月から地区の参加資格認定手続きが始まります。2013-14年度ガバナー、2014-15年度ガバナー、2013-14年度財団委員長が手続きをします。

【国際協議会-新補助金制度研修】

2013年1月、ガバナー・エレクトは国際協議会最終日の18日(金)、2013-14年度地区財団委員長は18日(金)と19日(土)の二日間、サンディエゴで新補助金制度の研修に参加します。

3.ポリオ・プラス

【ポリオ症例数】

2012年8月3日現在のポリオ症例数です。

	2012年 1月1日～8月3日	2012年 1月1日～12月31日
アフガニスタン	15	80
パキスタン	23	198
ナイジェリア	60	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	103	650

*現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3か国です。

4.ロータリー平和フェロースhip

「平和及び紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」プログラムは、ロータリー平和センターといわれるロータリーと提携した大学で、修士号または修了証プログラムに参加するための奨学金で、仕事や奉仕活動を通じて国内外で平和及び紛争解決を推進するリーダーとなる人材を育成することを目標としています。

2002年プログラム開始以来、600人以上のフェローがこのプログラムに参加し、学友の多くが、平和と紛争の解決の分野で活躍しています。この秋から第11期生として、日本から3名の新しいフェローが、このプログラムに参加します。第2710地区推薦の新屋由美子さんはイギリスのブラッドフォード大学、第2550地区推薦の大阿久裕子さんと第2790地区推薦の宇野かおりさんは、日本の国際基督教大学で学びます。

5.教育的・人道的プログラム(2012-13年度まで)

【新補助金制度への移行】

マッチング・グラント・地区補助金(DSG)・国際親善奨学金・研究グループ交換などのプログラムは、2012-13年度で終了します。2013-14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用して奨学生の派遣や人道的プロジェクトを実施できます。ロータリー平和フェロースhipは2013-14年度以降も継続します。

災害支援プロジェクト報告(第15回)

災害支援プロジェクト 委員長
岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

1.九州北部大雨災害義援金(中間報告)

7月上旬の九州北部大雨災害の支援を各クラブにお願いいたしましたが、8月8日現在で1,486,625円の義援金が集まっております。義援金は被害のあった地区に送る予定です。最終的な金額は、あらためて報告いたします。

2.災害支援プロジェクト報告書

昨年度の支援活動をまとめた「東日本大震災復興支援 災害支援プロジェクト報告書」を、7月31日に地区内クラブにお送りいたしました。会員の皆様にご覧していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、報告書に記載しました収支の内容を下記に掲載いたします。

2011-2012年度 災害支援プロジェクト 全体の収支

A. 第2660地区に寄せられた支援金 - 総額	
1. 松本年度分 資料②	82,535,512円
2. 岡部年度分 資料③	26,899,664円
合計	109,435,176円

B. 支出明細	
1. ガバナー会より被災地区に送金	9,690,001円
2. 当地区より被災地区に送金	
第2520地区	10,000,000円
第2530地区	5,000,000円
第2520地区 地区大会賽銭	189,394円
北上西RC 地区大会募金箱	69,472円
4. プロジェクト承認案件抛出 資料④	37,911,200円
5. クラブへの返金 資料②	37,224,413円
6. 委員会主導 クラブ抛出金	
No.41 大船渡市漁業組合 資料⑤	6,255,704円
No.45 中赤崎漁組 資料⑥	2,351,000円
合計	108,691,184円

C. 残高(2012年7月20日現在)	
A 合計	109,435,176円
-) B 合計	108,691,184円
-) 送金手数料	35,100円
差引 預金残高	708,892円

2012年7月度 会員数・出席報告

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 1 組	池田	36	34	2	0	2	2	4	67.92	64.54
	池田くれは	29	29	2	0	0	0	4	92.75	88.34
	箕面	21	23	0	2	0	2	4	90.84	84.49
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	4	88.96	88.96
	豊中	45	46	3	1	0	1	5	82.50	73.54
	豊中南	30	30	2	0	0	0	4	82.19	78.82
	豊中-大阪国際空港	19	19	0	0	0	0	4	58.77	53.94
	豊中千里	37	37	3	0	0	0	4	88.19	84.92
	小計	240	241	12	3	2	1		81.52	77.19
	I M 第 2 組	茨木	24	24	3	0	0	0	4	92.63
茨木東		39	39	4	0	0	0	4	84.62	76.43
茨木西		29	29	6	0	0	0	4	88.80	75.86
千里		36	38	0	2	0	2	4	87.50	80.35
千里メイプル		22	22	2	0	0	0	4	90.70	84.88
摂津		40	40	2	0	0	0	4	95.19	78.26
吹田		62	62	8	0	0	0	4	95.71	87.24
吹田江坂		38	38	2	0	0	0	5	98.27	88.24
吹田西		47	48	2	2	1	1	4	100.00	85.02
高槻		50	52	6	2	0	2	4	84.69	82.27
高槻東	37	37	0	0	0	0	4	96.76	95.38	
高槻西	22	22	0	0	0	0	4	97.73	86.36	
小計	446	451	35	6	1	5		92.72	83.95	
I M 第 3 組	大東	44	44	0	0	0	0	5	98.95	93.02
	大東中央	26	26	10	0	0	0	4	86.57	75.62
	枚方	38	38	0	0	0	0	5	91.41	87.19
	門真	29	31	6	2	0	2	4	90.84	81.67
	交野	31	31	1	0	0	0	4	76.71	68.68
	香里園	14	14	0	0	0	0	4	96.43	87.50
	くずは	57	58	0	1	0	1	4	79.00	72.81
	守口	41	41	3	0	0	0	4	89.37	80.85
	守口イブニング	26	26	4	0	0	0	4	91.35	77.89
	寝屋川	40	40	5	0	0	0	4	91.03	82.69
四條畷	11	11	0	0	0	0	4	97.50	97.50	
小計	357	360	29	3	0	3		89.92	82.31	
I M 第 4 組	東大阪	67	68	0	1	0	1	4	94.42	84.99
	東大阪中央	35	35	0	0	0	0	4	96.05	88.35
	東大阪東	59	60	3	1	0	1	4	88.25	73.86
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	4	88.00	73.15
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	4	92.83	81.72
	大阪柏原	28	28	2	0	0	0	5	91.55	83.78
	大阪ネクスト	16	16	6	0	0	0	4	66.00	44.00
	八尾	64	66	0	2	0	2	4	77.21	75.91
	八尾中央	17	17	1	0	0	0	5	91.24	89.91
	八尾東	23	23	1	0	0	0	4	75.53	69.14
小計	366	371	14	5	0	5		86.11	76.48	

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 5 組	大阪中央	45	47	5	2	0	2	4	90.20	84.10
	大阪堂島	32	32	1	0	0	0	4	86.71	82.81
	大阪北	195	196	0	1	0	1	4	81.34	71.54
	大阪北梅田	51	51	3	0	0	0	4	79.41	68.63
	大阪西	70	70	0	0	0	0	4	90.33	81.67
	大阪大淀	54	54	0	0	0	0	4	84.18	69.90
	大阪リバーサイド	36	36	6	0	0	0	4	87.04	74.08
	大阪西北	53	53	0	0	0	0	4	95.25	88.20
	大阪そねざき	36	36	22	0	0	0	4	94.72	90.19
	大阪梅田	27	27	0	0	0	0	5	84.11	76.60
大阪梅田東	26	28	0	2	0	2	4	87.40	73.10	
大阪ユニバーサルシティ	29	29	4	0	0	0	4	87.96	77.78	
小計	654	659	41	5	0	5		87.39	78.22	
I M 第 6 組	大阪	255	255	0	1	1	0	4	72.12	58.64
	大阪東	118	122	0	4	0	4	4	93.53	81.80
	大阪東淀ちゃやまち	31	31	3	0	0	0	4	79.35	71.74
	大阪城東	42	42	5	0	0	0	4	92.62	88.21
	大阪中之島	29	29	2	0	0	0	4	96.42	79.66
	大阪大手前	36	36	2	0	0	0	4	91.64	76.46
	大阪城北	53	53	3	0	0	0	4	82.21	79.65
	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	4	89.14	84.59
	大阪鶴見	34	35	0	1	0	1	5	88.04	85.04
	大阪一淀川	33	33	3	0	0	0	4	93.93	80.17
新大阪	34	35	0	1	0	1	4	87.69	80.47	
小計	732	738	18	7	1	6		87.88	78.77	
I M 第 7 組	大阪フレンド	22	22	3	0	0	0	4	93.93	81.61
	大阪本町	25	26	2	1	0	1	5	94.78	83.51
	大阪御堂筋	33	33	0	0	0	0	4	84.68	71.78
	大阪南	142	142	0	0	0	0	4	82.43	71.28
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	90.97	77.17
	大阪なにわ	25	25	2	0	0	0	4	91.91	80.83
	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	86.98	83.75
	大阪西南	99	99	19	0	0	0	4	100.00	77.78
	大阪船場	40	40	0	0	0	0	4	92.50	88.50
	大阪心斎橋	36	37	0	1	0	1	4	92.47	82.17
大阪うつぼ	31	31	4	0	0	0	4	93.77	89.08	
小計	515	517	33	2	0	2		91.31	80.68	
I M 第 8 組	大阪平野	31	31	3	0	0	0	4	95.80	84.30
	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	3	90.20	72.55
	大阪城南	52	53	0	1	0	1	4	99.01	90.88
	大阪吹洲	19	19	1	0	0	0	4	82.90	65.79
	大阪天王寺	59	59	0	0	0	0	4	92.09	85.96
	大阪帝塚山	55	55	4	0	0	0	4	78.28	71.25
	大阪東南	49	49	0	0	0	0	4	93.88	70.41
	大阪アーバン	28	28	8	0	0	0	4	75.89	75.00
	小計	309	311	20	2	0	2		88.51	77.02

合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	平均 出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3619	3648	202	33	4	29	88.2	79.3

敬弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

藤井 昭三郎 名誉会員(門真RC)

2012年7月16日逝去(享年83歳)

幹事、理事、ロータリー情報・研修委員長、
会員増強委員長、雑誌・会報・広報委員長、
職業委員長、クラブ史編纂委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

森 繁子 会員(池田RC)

2012年7月25日逝去(享年84歳)

会長、幹事、理事、奉仕活動委員長、
ロータリー情報委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

お知らせ

●大阪ネクストロータリークラブ 例会場変更

中央電気倶楽部 会議室「101」

TEL: 06-6345-6351

例会曜日: 水曜日(変更なし)

例会時間: 19:30~20:30(食事なし)

ビジターフィー: 1,000円

●門真ロータリークラブ・守口ロータリークラブ・守口イブニングロータリークラブ

施設名称変更(2012年8月1日より)

(旧)守口ロイヤルパインズホテル → (新)ホテル・アゴーラ大阪守口

〒530-0008 大阪府守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口

●吹田西ロータリークラブ 施設名称変更(2012年8月1日より)

(旧)江坂東急ビル → (新)東急プラザ江坂

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町9-40 東急プラザ江坂

●大阪天満橋ロータリークラブ メールアドレス変更(2012年8月9日より)

(旧)temma-rc@lapis.plala.or.jp → (新)temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp

2012年8月中は何れも使用可能ですが、2012年9月以降は、新アドレスのみとなります。

お手数ですが、メールアドレスの変更をよろしくお願い致します。

文庫通信 (299号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「皇室に学ぶ日本人の底力」
所 功 2012 11p (第40回ロータリー研究会)
- ◎「新たな国づくりに向けて－東日本大震災を経験して」
増田 寛也 2012 5p (D.2710地区大会)
- ◎「激動する国際情勢と日本」
田久保 忠衛 2012 2p (D.2770地区大会)
- ◎「東日本大震災を経験して」
桑原 茂 2012 2p (D.2550地区大会)
- ◎「自然環境を考える」
C.W.ニコル 2012 2p (D.2550地区大会)
- ◎「日本復活、今、日本人の持つべき心は!」
金 美齡 2012 7p (D.2580地区大会)
- ◎「キャリア教育の意義と実践」
水井 健次 2012 7p (D.2630地区大会)
- ◎「支縁社会をつくる」
坂東 真理子 2012 16p (D.2630地区大会)
- ◎「元米山奨学生として」
徐 重仁 2012 2p (D.2550地区大会)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みお待ちしております。

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	高島 凱夫
地区代表幹事	村橋 義晃
地区副代表幹事	杉村 雅之
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美 春名 志保 納多 寿恵子

●所在地・電話・FAX・E-mail

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

●ホームページアドレス

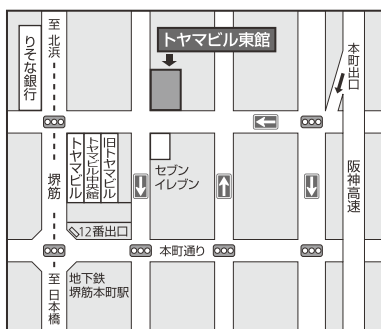
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30～17:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期 2012年8月11日(土)～2012年8月16日(木)
年末年始 2012年12月29日(土)～2013年1月6日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多36名、詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| ●ガバナー | 高島 凱夫 | ●地区代表幹事 | 村橋 義晃 |
| ●地区副代表幹事 | 杉村 雅之 | ●担当地区幹事 | 西田 末彦 |
| ●担当地区幹事 | 梅原 一樹 | ●事務局長 | 今井 貢二 |



Peace
Through Service
奉仕を通じて平和を

地区大会

2012-13年度 国際ロータリー 第2660地区

健全な心と体の育成を
～地球の平和のために～

第1日目 2012年12月7日(金)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 開会式(5階メインホール) …… 13:00 開会
・講演「ロータリー綱領の和訳について」 …… 鳥居 滋 氏
- 分科会(10階会議室) …… 15:00 開会
・分科会Ⅰ [会長・幹事部門:人間にとって障害とは何か] …… 正高 信男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:臓器移植とオカルトの知] …… 澤井 繁男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:これからの若者に期待したい事—HIV/AIDS、
飲酒、喫煙の実態報告から] …… 白阪 琢磨 先生
・分科会Ⅲ [米山奨学・R財団部門]
・分科会Ⅳ [新入会員部門]

リーガロイヤルホテル

- 家族の集い(ダイヤモンドルーム) …… 15:00 開会
・「北の大地に魅せられて」 …… 菊池 晴夫 氏
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会(光琳の間) …… 18:00 開宴

第2日目 2012年12月8日(土)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 本会議(5階メインホール) …… 13:00 開会
- 特別講演(5階メインホール)

「iPS細胞研究の進展」

京都大学教授 京都大学iPS細胞研究所 所長 山中 伸弥 教授

※友愛の広場は、上記、両日ともに12:00より大阪国際会議場(グラン
キューブ大阪)5Fホワイエにて実施しております。

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL. 06-6264-2660 FAX. 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660
Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 JAPAN
TEL. +81-6-6264-2660 FAX. +81-6-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp